

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果

< 参考資料 >
 2016年1月28日
 東京電力株式会社

参考値

(データ集約 : 1/28)

採取場所	3号機原子炉建屋上部① (原子炉上南西側)		3号機原子炉建屋上部② (機器ハッチ開口部)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	2016年1月20日 11時20分～11時50分		2016年1月20日 9時50分～10時50分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	1.0E-06	0.00	2.9E-07	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	5.5E-06	0.00	1.2E-06	0.00	3E-03

- ※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。
- ※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。
 その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。
 検出限界値は次の通り。
 揮発性のI-131が約5E-7Bq/cm³、Cs-134が約1E-6Bq/cm³、Cs-137が約2E-6Bq/cm³。
 粒子状のI-131が約3E-7Bq/cm³。
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。